8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 539
平成２６年１０月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100−0013
東京都千代田区霞ヶ関3−3−1
尚友会館6階
電話　03−3501−5611㈹
発行人　和田　浩
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

道路予算の確保と速やかな事業の推進を！

全国道路利用者会議理事会開催

全国道路利用者会議は理事会を去る9月19日（金）に東京都千代田区の霞が関ビルで開催し、来る10月23日（木）に香川県で開催される第64回全国大会附議事項（役員の一部改選、各地区要望事項、要望書（案）等）の審議を行い、原案の通り議決された。

綿貫民輔会長

会長挨拶の後、国土交通省から、平成27年度道路関係予算概算要求に関する説明を頂いた。

その後、須藤弘三副会長を議長として、来る第64回全国大会附議事項について審議を行った。

【綿貫会長挨拶】

「全国道路利用者会議理事会」の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙のところ、全国各地からご参集いただき、ご苦労様でございます。理事の皆様方には、日頃から当会議の運営にご理解とご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

今年の夏は、全国各地において台風や集中豪雨、また竜巻による被害が相次ぎました。

特に、西日本太平洋側において過去最大の月降水量を記録した「平成26年8月豪雨」では、全国各地において、台風による大雨、集中豪雨による大規模な土砂災害や浸水などにより、70名余の尊い命が犠牲になられ、２７０棟を超える家屋が、全半壊するなどの甚大な被害をもたらしました。

その後、9月になっても、近畿・首都圏・北海道など、大雨による被害が続いております。

一連の災害で亡くなられた方々、被害にあわれた方々に、心からお見舞いを申し上げますと共に、復旧が速やかに進み、一刻も早く安全な生活を取り戻されます事を期待しております。

さて、当会議は、創立以来、国土の発展と豊かな国民生活を形成するため、道路整備の促進のために様々な活動を行ってまいりましたが、依然として、我が国の道路整備状況は、幹線道路ネットワークの未整備区間が多く残るなど、地域の安全・安心の確保、地域経済の振興を図る観点から見ても、未だ十分な役割を果すまでには至っておりません。

加えて、東日本大震災の教訓でもありますが、「道路はつながって初めて機能を発揮する」ものであり、防災・減災の観点からも、道路ネットワークの強化を図っていただく必要があります。

また、近年、道路インフラの老朽化の問題が顕著となり、本格的な対策が急がれております。

この様な状況の中、平成27年度概算要求が発表されました。後ほど、詳しく説明頂けると思いますが、昨年度に続き、公共事業費は対前年10％削減が基本となっております。

「新しい日本のための優先課題推進枠」を含め、要求額を満額確保しなければ、今、道路整備が抱えている数々の課題が解決しない事は明らかであります。

当会議といたしましては、東日本大震災からの復興を加速させ、デフレからの早期脱却と、経済再生、更には、「地方の創生」を実現するためにも、道路整備がいかに必要であるかと言う事を様々な方面に発信して、道路予算の確保と速やかな事業の進捗のために、全力を投入して参りたいと存じます。

会員各位のなお一層のご支援とご協力をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

地方公共団体管理の老朽橋梁に「道路メンテナンス技術集団」を派遣

全国3橋梁で直轄診断を試行

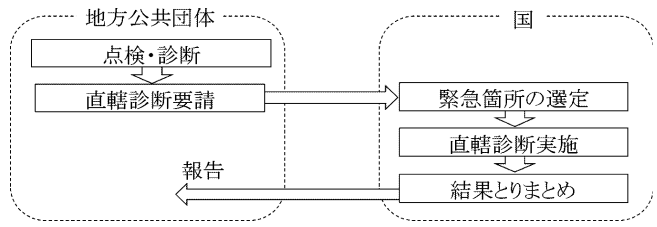
道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められている。

国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い下記の3橋梁について直轄診断※を試行的に実施することとした。

※直轄診断：「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

県名	町村名	路線名	橋梁名	建設年	延長（m）	緊急性・高度な技術力の必要性（町村での点検結果より）
福島県	三島町	町道 宮下名入線	三島大橋	昭和 50 年	131	大規模アーチ橋で多数のボルト破壊が進行しており、早急に全てのボルト交換が必要
群馬県	嬬恋村	村道 大前細原線	大前橋	昭和 33 年	73	建設後 50 年以上が経過した施工方法等の詳細が不明なコンクリート橋であり、主桁等に大きな損傷が見られる。
高知県	仁淀川町	町道 仁淀吾川線	大渡ダム大橋	昭和 58 年	444	高度な専門技術が求められる吊り橋で、健全性に大きな影響をもつ主桁接合部などで損傷が散見

全体の流れ



♣今月のことば♣

「驥尾に附す」

才知のない凡人も賢者の後についてゆけば、自分だけではとてもやれぬような事が出来るということを、謙遜して言う言葉。

全国道路利用者会議編「道のことわざ名言集」より

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL03(3265)1511代表